

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
121	B-07000274	男性	11歳	100 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	39℃の発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤、臭化水素酸デキストロメトルファン、塩酸アンブロキシソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ唸る(約5分間)。急に立ち上がり胸を両手でおさえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用8時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、目を覚まし、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。
122	B-07003018	男性	11歳	52.5mg	トラネキサム酸 塩酸ツロプロテロール フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断された。夕方、リン酸オセルタミビル服用。本剤服用1時間後、突然睡眠から覚醒し、立ち上がり「テスト」と言って階段を登って、2階に上がろうとした。制止して様子を見ると、ニヤリと笑った。その後も家の中をふらふらとした。服用は1回で中止し、再び入眠。翌日、異常行動回復。本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。
123	B-07003581	男性	11歳	64.005mg	モンテルカストナトリウム 塩酸クレンブテロール 塩酸アンブロキシソール クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール リン酸ジメメルファン フマル酸クレマスチン プロピオン酸ベクロメタゾン テオフィリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。その後寝かせたが、1~2時間してから起きてきて友達の家遊びに行くと言い出し、無理に外出しようとした。抑えて寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。しばらくすると治まり、その後服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。
124	B-07003786	男性	11歳	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル リン酸ジメメルファン アセトアミノフェン 塩化リゾチーム	異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザ確定診断実施し、B型と診断。リン酸オセルタミビル服用開始。2階で臥床していたが、大声を出し、階段をかけ下りてきた。その後、服用を続けていたが異常なし。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
125	B-07011102	男性	11歳	不明		異常行動	不明	39°Cの熱が続き、キットでは陰性だったが、医師の経験上の判断でインフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝、本剤服用後、2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとしたところを家族に制止された。その時顔は赤らんでいて、何も覚えていないとのこと。
126	B-07013215	女性	11歳	144mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩酸トリプロリジン 桜皮エキス セネガ アセトアミノフェン	譫妄	軽快	体温は37.8°C。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、就寝1時間後(本剤服用7時間後)、突然起き階段を「恐い恐い」と言いながら走っておりてきた。15分~20分振っていた。服用2日目、朝、せん妄軽快。その後、服用3日目まで、本剤服用。
127	B-07013227	男性	11歳	150 mg	クラリスロマイシン 鎮咳配合剤(1) メキタジン カルボシステイン	激越 浮動性めまい	回復 回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。1回目服用後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約6時間後に2回目服用。その後就寝。突然起き出し外に飛び出したところを家人におさえられる。2、3分にて本人が気付き状況確認すると、とても恐い夢をみたとのことだった。
128	B-07013315	男性	11歳	80 mg	カルボシステイン フマル酸ケトチフェン 塩酸プロカテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用約1時間後、急に走り出して外へ出て行こうとした。母親が制止したが、暫くボーとしていた。その後、異常行動回復。
129	B-07013316	男性	11歳	67.5mg		異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。服用2日目、午後、昼寝の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な言動もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、我に返り部屋に戻るが、行動、言動については記憶がない。事象発現30分後、異常行動回復。以後は症状みられず。
130	B-07013379	男性	11歳	67.5mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン 塩酸セフカペンピボキシル	恐怖 うつ病 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態発現。服用2時間30分後、就寝後、驚怖のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。その後、就寝。服用5時間30分後、再び就寝中に数分~5分内の恐怖の発現が有り。服用7時間30分後、就寝中に再び数分の興奮有り。数分~5分で改善。服用2日目、一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態軽快。何事もなくめざめる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
131	B-07013383	男性	11歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、急に家を飛び出し、家の周囲を1周し、帰って来て笑っていた。その後、異常行動は回復、本剤中止を指示して再発なし。
132	B-07013387	女性	11歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、2回ほど家を飛び出そうとしたが、親が止めたため、大事には至らなかった。本剤中止。服用3日目、異常行動軽快。
133	B02-12377	男性	12歳	150mg		低体温	回復	インフルエンザ確定診断後、本剤投与。 本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親がおさえた。体温:34~35℃。 同日、再度服用したところ、幻視、低体温、暴れるなどの症状出現し、再び両親におさえられて治まった。その後、本剤は中止とした。 翌日、低体温は継続。 投与中止3日後、幻視、低体温回復
134	B-03011945	男性	12歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	診断キット(-)だが、リン酸オセルタミビル150mg/日及び非ピリン系感冒剤を処方。夜、1回分を服用後、翌明け方、39℃の熱と、意味不明の発言、尿失禁あり。朝、本剤を内服し、午後から解熱。夕方、意味不明の発言が見られ、玄関とは全く違う方向へ歩いていこうとしたが、家人の呼びかけで元に戻った。受診したが、受診時は意識清明。内服薬を中止し、入院して様子を見たが、異常行動はなかった。
135	B-04009035	男性	12歳	150mg	セフトレニボキシル D-マンニトール アシクロビル 塩酸セフォチアム	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフトレニボキシル等を処方され内服。同日夜、突然「苦しい」と顔つきが異常になり、自宅2階の窓から飛び降りた。救急車で来院時、意識清明。投与開始から6日目で本剤の投与終了。
136	B-05023672	男性	12歳	60mg	臭化水素酸デキストロメトル ファン メキタジン ラクトミン	異常行動	回復	発熱(39℃)、咳、鼻症状、消化器症状にて確定診断後本剤内服し就寝。 その後、異常行動発現(トイレに行こうとするが、様子がおかしく、その後突然外出し、団地4階より階段を下りて下にある自転車走り出す。奇声を上げる)。 15分後帰宅するが、意識がぼーっとしており、発語もはっきりせず、朝まで経過翌朝、起床時には回復。その後夜間診療まで、異常行動なく、受診時も、意識清明、問題行動なく、解熱、インフルエンザ症状軽減。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
137	B-05023790	男性	12歳	66 mg		異常行動 意識変容状態 橈骨骨折 下肢骨折	回復 回復 不明 不明	A型インフルエンザの診断後、リン酸オセルタミビルを服用した後、自宅マンションの2階より転落。意識障害や異常行動が発現していた。4~5日目も夜間にうわごとがあった。13日目には意識障害と異常行動が回復していた。
138	B-05024838	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の2回目服用から約30分後に、就寝中より突然起き出して父親に抱きついたり、母妹に意味不明な言語を発する等の異常行動が発現し、約30分間持続した。その後、異常行動から回復した。
139	B-05025582	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン シャゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。2回目服用後、異常行動(部屋の中をぐるぐる回る、2階から飛び降りようとする等)発現。父親が取り押さえ約40分後異常行動(わめいたり暴れたり)軽快し眠った(39℃以上)。翌朝解熱(36.7℃)し意識は正常で異常はなかった。母親の話では1年ほど前にも発熱した際に今回のようにひどくはなかったがうなされたことがあった。
140	B-06007798	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	死亡 損傷	死亡 死亡	発熱があったため、家族に処方されていたリン酸オセルタミビルを75 mg/日服用。その後、熱が下がらないことから、左記併用薬を服用。同日夕方、自宅のある高層住宅の駐車場で心臓停止状態で発見され、病院に搬送されたが死亡。 【解剖所見あり】
141	B-06012472	女性	12歳	75 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン	意識変容状態	回復	B型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3時間弱で意識障害(窓の方へ駆け出し、叫ぶ)が発現し、入院することになった。リン酸オセルタミビルの服用は中止し、塩酸プロカテロールの服用を開始したが、その日の夜に意識障害が見られた。リン酸オセルタミビルの投与開始から6日目にインフルエンザ症状が軽快し、意識障害も回復した。
142	B-06024212	男性	12歳	75 mg		意識変容状態	回復	発熱(40.5℃)、咳、鼻症状、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用当日、意識障害(名前、自分の年が言えず)発現。投与翌日、意識障害回復。
143	B-06024534	男性	12歳	150 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビルを投与。本剤服用開始当日夜から翌日朝にかけて、異常行動(突然裸になり踊るなど)あり。発熱持続。2日目午前服用後、夕方、母親が目を離れた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
144	B-06024909	男性	12歳	150 mg	プラノプロフェン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	発熱(37.8℃)、咳、倦怠感あり、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。投与翌日、外を走っているところを見つけられ、家に連れ戻されたが、2階へ駆け上がり窓を開けて飛び降りた。
145	B-06025101	男性	12歳	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	不明	本剤服薬2時間後に幻覚をみて、異常行動(裸足で外に飛び出した。)出現。帰宅後、自ら電話し、救急車で他院に搬送。点滴により落ち着き帰宅。夜になると怯えてしまう。昼間は問題なし。その後も就寝後1時間くらいでおきだして、錯乱状態となる。5日後、解熱。7日後、通学し始める。就寝後の錯乱状態が続くため、他院受診。「夜驚症」と診断される。
146	B-06025576	女性	12歳	150mg		異常行動	回復	本剤処方昼食時に服用。その夜、異常行動発現(突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ)。約10分で落ち着き、両親がおさえる。体温(37.5℃)翌朝から、本剤服用再開、その後異常行動なし。本剤投2日後、外来受診し、異常行動回復となる。
147	B-06026630	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。
148	B-07001302	女性	12歳	75 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣 浮動性めまい 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤投与1回目の就寝2時間後、徘徊し、2階の階段から転落。痙攣が10分ほど持続。事象発現から30分後、意識が戻り、その後は問題なし。
149	B-07001361	女性	12歳	150mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間1回きり)。家族がおさえつけて制止した。服用開始5日目、服用終了。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
150	B-07001523	男性	12歳	75 mg	塩酸アンブロキソール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ホミノペン アセトアミノフェン	意識変容状態	回復	数日前より症状あり、一般用の感冒剤を服用。 翌日、発疹あり受診。インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、両上肢拳上、訳のわからないことを言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後紙製のふたをにぎりしめていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。CT異常なし。眠気あり。その翌日午後、意識清明となる。
151	B-07002664	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 塩化リゾチーム d-マレイン酸クロルフェニラ ミン	錯乱状態 強迫性障害 うつ病	回復 未回復 未回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼前に本剤服用。夕方、解熱。同日夕方、2回目服用後に就寝。就寝1時間後、起きた時に錯乱状態になり、家族が押さえつける。症状は約30分間続き、回復。投与中止。投与中止1日後、朝、37.3℃。起床後すぐに「手洗い」を始め、その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになるといった強迫神経症、うつ病が発現。インフルエンザは軽快。 投与中止4日後、1日に60回以上「手洗い」し、周りの物に触れようとしなくなる。メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。投薬されるも症状改善なく、1日に7~8回入浴する状態となる。食欲も著しく低下。 投与中止21日後、ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望さらに強くなる。 投与中止55日後、夜、突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。救急受診し、筋弛緩剤投与され改善。その後も自宅療養中。
152	B-07011932	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	夜、発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生剤と解熱剤を処方。翌朝、受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた薬は終了。インフルエンザ確定診断実施したところ、B型と判明。発熱以外特に訴えなく所見もないようなので、リン酸オセルタミビル等を処方。服用1日目、深夜、寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走った。裸足で飛ぶように走った。服用開始から3日目、朝、本人は自分の行動を全く覚えていなかった。平熱に戻り元気が良いとのことで、本剤服用中止を指示。
153	B-07013228	男性	12歳	150mg	麻黄湯	異常行動	回復	前日より39.1℃の発熱あり。インフルエンザA型陽性との診断受け、リン酸オセルタミビル等を処方。本剤を服用し、就寝。夜、気持ちが悪いとトイレへ行った。トイレから出てきてうわ言で「屋上、屋上が..」と言って玄関から出ようとしていたので両親2人がかりでおさえつけた。その後本剤中止。
154	B-07013229	男性	12歳	150 mg	フマル酸クレマスチン 臭化水素酸デキストロメトル ファン カルボシステイン トラネキサム酸	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型発症のため、リン酸オセルタミビルを朝、夕2回服用。深夜、急に起き上がって服を脱ぎ、部屋の中を歩き、お茶を飲んだ。 ベランダに出て乗り越えようとしたのを母と祖母で止めて室内へ連れ戻した。体温は37.9℃。40分くらいで再び眠りについた。その約3時間後、寝ている状態でベッドでバタバタして話をしていて、目はグルグル回って変だった。40分くらい続いた。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
155	B-07013305	男性	12歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動(走り回る、顔つきがおかしい等)が発現。その後、異常行動は回復。
156	B-07013374	女性	12歳	75 mg		異常行動 幻覚 妄想	回復 不明 不明	夕方、B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。何も持っていないのに1つ持っていると言い、外に出ようとするので、父親が側につき、外に出ようとするのを制止した。未明に落ちつく。
157	B-07013380	男性	12歳	150 mg	鎮咳配合剤(1) プロピオン酸フルチカゾン ベシル酸ペポタステン 小青竜湯 麻杏甘石湯	落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、突然2階階段を走り降りる。 夕方、本剤服用後、やはり不隠状態となり、家族が制止する。
158	B-07013382	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(マルトース加)	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼、夕、本剤服用。2回目服用4時間後、40.2℃の発熱、脱水に対して、アセトアミノフェン服用。輸液点滴静注開始。その後、睡眠。点滴終了し、抜針した所、走り出した。服用2日目、異常行動回復。
159	B-07013388	男性	12歳	75 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	39℃の発熱あり、インフルエンザB型の判定のもと、夕方、リン酸オセルタミビル服用。未明、もうろう状態発現。急に起きて、ベットの上で飛びはねて2階から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。
160	B-03000982	男性	13歳	150mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン リン酸コデイン 酸化マグネシウム	異常行動	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル及び他の併用薬服用開始。服用2日目の16時異常行動発現(突然2階から降りてくる、ウサギ跳びをする、異常な発言)、家族がなだめ就眠。20~21時異常行動(ベッドから飛び降りる、異常な発言あり)。3日目朝全て薬剤中止。異常行動発現5日後に回復。
161	B-03001038	女性	13歳	150mg	塩酸チアラミド リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕方、75mgを服用。翌日、39℃の熱が下降すると同時に走り始め窓から飛び降りようとしたり、奇声を発した。翌日も同様の状態が続いた。2日後には症状はなくなり、投与開始5日目の朝の服用で本剤の投与終了。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
162	B-03009902	男性	13歳	150mg	dl-マレイン酸クロルフェニラミン カンソウ抽出物・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ヒベンズ酸チペピジン 塩化リゾチーム プロチン キョウニン水 単シロップ トローチ〔複合〕 ポピドンヨード アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。同日夜、75mgを服用し、その2時間半後、家の中を走り回ったり、意味不明の奇声など異常行動出現。40分後、受診したが、受診時の意識は正常、譫妄状態時の記憶なし。点滴し1時間ほどで帰宅。翌日もリン酸オセルタミビル150mg/日を服用(併用薬も継続)。異常所見なく、6日間服用し終了。
163	B-05001832	男性	13歳	150mg		精神障害	回復	インフルエンザ診断を行った結果、A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。16時頃本剤1回目服用。23時頃2回目服用。その3時間半過ぎに自宅の2階から飛び降りた。その際体温は38℃。翌日朝、受診。
164	B-06022963	男性	13歳	150 mg	アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	B型インフルエンザの確定診断により、リン酸オセルタミビルを午前中帰宅後と夕食後に内服後、夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思込み、家を飛び出し知人宅を廻る。7時間後、幻覚、異常行動回復。
165	B-06025315	男性	13歳	75 mg	プロピオン酸フルチカゾン 塩酸プロカテロール	異常行動	軽快	発熱を伴うインフルエンザB型で本剤、カロナールを処方。その夜、本剤服用後就寝し、夜中に異常言動発現叫びながらベランダに向かって歩き出す)。再度受診し、服用を中止。その後、異常行動なし。
166	B-06026420	男性	13歳	150 mg		異常行動	回復	1回目服用約2.5時間後、異常な発言(「大きい石がのっている」)あり。2回目服用4時間後、起きてきて数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗る、その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脳が占められない状態であった。また室内犬をかけた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。



異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
167	B-07000063	男性	13歳	150 mg		異常行動	不明	ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。 2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。 異常行動があったため、当院にて診療。 治癒後も目が覚めると歩きまわる様になった。
168	B-07000066	男性	13歳	75 mg	クラリスロマイシン برانلカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	精神症状	回復	インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38~39℃台の発熱が続いていた。 夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発語あり、窓から外へ出ようとするため、母親が罵乗りになっておさえた。5~10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思いつぐには連絡しなかった。本剤服用中止。
169	B-07000077	男性	13歳	150 mg	フェンジゾ酸クロペラスチン 塩酸アンブロキシソール イブプロフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用後、突然起きて外出する。家族が気づいて追いかけて連れ戻す。 受け答えははっきりせず、自分のした行動も理解していなかった。連れ戻した後、すぐに就寝。本剤服用中止。その後異常行動はなく、意識もすぐ正常に戻った。
170	B-07000130	男性	13歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム ヒベンズ酸チペピジン 塩酸セチリジン	異常行動	回復	体温:39.3℃。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 覚醒後「暑い」と言い「ベランダに行き、涼みたい」とベランダに向かって飛びだしそうになり家族が制止。10分後に異常行動回復。夜、臥床中、「ゲームの中のように誰かが追いかけてくるので逃げなくては」と言ってふとんをかぶるといった幻視の疑いが発現。10分後に幻視回復。以降、本剤を続けて服用したが、特に異常行動は見られなかった。
171	B-07000272	男性	13歳	60 mg	塩酸エブラジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとっておさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。
172	B-07000412	男性	13歳	138mg	塩酸チアラミド	落ち着きのなさ	回復	インフルエンザB型の治療のため、リン酸オセルタミビル処方。 服用2日目、午前中に2階から転落。頭蓋内血腫と診断。入院治療し、約1週間で退院。異常行動回復。 (平成18年7月の事例)

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
173	B-07001355	男性	13歳	150 mg	ブuproフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン ドンペリドン フマル酸クレマスチン	幻覚 異常行動 譫妄	回復 回復 回復	数日前から咽頭痛あり、朝から38.3℃の発熱を訴え受診。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤2回服用4時間後に就寝。翌日未明、両親の寝室にばたばたと入ってきて、「死ぬとこだった」とおびえた表情をしたので、両親は寝かせつけた。その朝、患児を観察すると、擦り傷、両下肢の付着物、両足底の汚れあり。事情をきくと、何かに追いかけるような怖い夢を見ていたような恐ろしい思いをした後、自分が窓枠にぶら下がり、両足をコンクリート壁の突き出し部分に乗せているのに気づき、よじ登って部屋に入ったとのこと。部屋を確認すると、窓が開いている、足跡がついている等の形跡あり。
174	B-07001668	男性	13歳	150 mg	アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱39.1℃。検査にてインフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日昼、夜と本剤2回服用。 翌日未明、就寝していた患者が急に起きあがり、部屋をかけ回る、たんすを開ける、友達がいると言ひ、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさえる。数分で落ち着いた。39.9℃と高熱。同日朝、意識清明であるが、異常行動時の記憶はなし。本剤服用中止。その後、異常なし。
175	B-07002055	男性	13歳	不明		異常行動	回復	シーズン前にインフルエンザ予防接種2回施行。 気分が悪いと訴えあり。体温38.4℃。インフルエンザ検査陰性であったが、インフルエンザの可能性高いからと、リン酸オセルタミビル処方。服用3~4時間後の早朝、「友達がベランダから落ちた」と発言。問いかけに答えられず。そのまま睡眠した。同日夕方、ウーと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と発言。本剤中止。暫くして意識清明となる。 翌日未明、気分が悪いと訴え、リビングを駆けずり回り、「死にたい」と連呼。救急車要請。救急隊到着時、ぼーっとしている感じではあったが、名前を言えた。入院後、補液。その間異常行動なし。意識清明。顔には自分でひっかいた、ひっかき傷目立つ。唇もかんでいるようで、出血あり。本剤内服せず様子見とした。翌日、解熱し、異常行動もみられず退院。 2週間の間隔をあけて測定したが、インフルエンザに対する抗体価の上昇なし。